

ゆっくり動く雲と速く
動く雲があるのは、どうして?

青空をばんやり見ていると、ほと
んど動かないのんびり雲もあれば、
びっくりするほど速く流れる雲も
見られます。このように雲の速さ
がちがって見えるのは、雲のうか
んでいる高さがちがうからです。
電車や車のまどから見た外の景色
を思い出してみてください。自分
は同じスピードで動いているのに、
空にうつる近くのものは速く動き、
遠くのものはゆっくり動くように
見えます。これと同じことが雲で
も起きているのです。でもじっさいの雲の速さはちがいます。

大事なところを線を引いて、
見やすいですわね!



わた雲

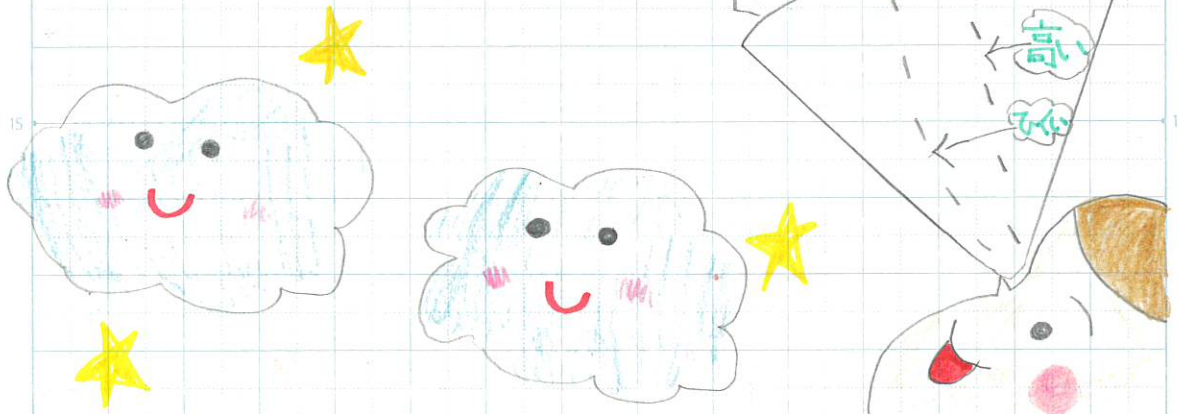
上空2キロメートルなら
おそいとしても、時速
40キロメートルに!

→ っづく

空の高さでわかる！
じっさいの雲の速さ！

雲は上空の風によって流れています。風は、高いところほど強くふくため、じっさいは高いところにいる雲ほど、速く動くのです。

ひくいところにある雲は自分に近いため、高いところにある雲よりも、しがいをたくさん重かったように見えます。そのため、ひくいところにある雲のほうが、速く動くように感じるのです。



ふり返り
ゆっくり動く雲と速く動く雲があるのはなんでか分かりました。★